

自己点検・評価報告書

令和7(2025)年度

東京三立学院

1. 学校の理念・教育目標

- 理念: ①21世紀の国際交流に寄与貢献する
②お互いを慈しみ理解し合い、国際交流を深め、平和な世界作りを推進
③生徒の思い出に残る充実した教育環境・交流を作る
④各国教育関係者の協力を得て、真に勉学向上心があり、生活能力のある生徒を募集

教育目標:①愛情あるしっかりとした講師陣による日本語教育

- ②教育環境・設備を充実
③生活環境、生活指導を十二分にケアする
④日本人の社会習慣及び道徳観の教育を盛り込む

2. 評価項目の取り組み状況

(1) 理念・教育目標

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
学校の理念・教育目標は定められているか	④・3・2・1
社会のニーズ・学生のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④・3・2・1
学校の理念・教育目標などが学生や保護者・紹介機関に周知されているか	4・③・2・1

当校の学校理念・教育目標は上記の大きな大項目のもと、それぞれ単なる理想でなく現実的に実践していくということを教職員一同に教育しております。言葉で理解するのみならず、学習者にどのように接するか、どのように必要なことを伝え、理解・納得を得て、サポートを行うべきか、それを常に考えて業務をおこなっていくことを日々のテーマとしています。これまでも当校は在籍学生の母国スタッフを正社員として雇用してきましたが、令和7年度4月より、在校生の増加に伴いネパール人スタッフ(正規社員)を1名追加採用いたしました。現現在学3か国の各国籍2名ずつの職員が常勤での態勢をとっています。さらに令和7年度には3か国に向けた学校案内パンフレットも刷新し、より発信力のあるかたちで学校を知ってもらう努力を続けております。これら態勢を強化しつつ、今後さらに学校の理念・教育目標を周知するよう動きをとってまいります。

(2) 学校運営

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
目的に沿った運営方針が策定されてるか	④・3・2・1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④・3・2・1
運営組織や意思決定機能は、規則などにおいて明確化されているか、有効に機能しているか	④・3・2・1

法務省入国管理局による適正校「クラス1」認定をいただき、学校の運営、事業計画は安定して行うことができます。文科省認定日本語教育機関への申請に向けて、令和7年度は組織の見直しを行い、校長をサポートし校務を行う「副校長(校長代理)」「副校長補佐」の2名を新規採用。管理職を厚く設定することで、情報の整

理・業務の可視化・対応や指示の多面的判断・コンプライアンスチェックの徹底・ダブルトリプルチェックでミスの軽減などを徹底する動きをとっています。また、組織と意思決定機能は引き続き学生状況共有システム、社内メール、社員間LINEWorksの活用などで効率よく進められるようにしています。

(3) 教育活動

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	④・3・2・1
教育理念や学生のニーズを踏まえた教育機関として、教育到達レベルの確認や補講などは明確にされているか	④・3・2・1
学生や時代のニーズに合ったカリキュラムや教育方法の工夫や開発などがされているか	④・3・2・1
学生からの授業評価の実施及び評価体制はあるか	④・3・2・1
成績評価の基準は明確になっているか	④・3・2・1
教職員の能力開発の為に研修などがおこなわれているか	④・3・2・1

非漢字圏学生が多数を占めるようになり、卒業後の進路や目標とする日本語運用力も多様化してきました。レベル分けを丁寧に行い、クラス編成や教材も無理なく学べるように工夫しています。令和7年度は初中級レベルの読解教材を新規作成し、N3合格へのステップとして活用を始めました。学生からのフィードバックを授業に活かせるように母国語担当者と協力して学期ごとのオリエンテーションも丁寧におこなっています。成績評価方法と基準は入学時オリエンテーションでの説明および、各教室内に平常点の掲示もおこない学生に周知しています。教職員には、昨夏に事務局員に対して2日にわたる業務・顧客対応への認識をアップデートさせる研修を実施、日本語教員には年度末にクラス管理・学習者対応などの研修を複数回実施しています。

(4) 学習成果

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
進路決定率の向上が図れているか	④・3・2・1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4・③・2・1
日本語能力試験や日本留学試験の結果を把握し分析しているか	④・3・2・1
日々の学習成果を確認しているか	④・3・2・1

卒業後の進学希望者についてはほぼ問題なく決定し、送り出せました。近年は就労希望も増え、特定技能への変更希望者も複数名発生しました。それらも順次査証更新が進み、卒業後の状況把握も密におこなっています。学生の校外における学生の活動・評価については、これまでもじゅうぶん把握できているとはいえず、引き続き課題と考えています。

各種試験の結果・学習成果に関してもこれまで同様、結果を基にした振り返りと検討、学期内で複数回の成績確認(定期試験および実力試験で3か月につき6回)やクラス状況の確認など教員たちで情報を共有しながら指導に当たっています。

(5) 学生支援

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
進路に関する支援体制は整備されているか	④・3・2・1
学生相談に関する体制は整備されているか	④・3・2・1

学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④・③・②・①
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④・③・②・①
学生の生活環境への支援は行なわれているか	④・③・②・①

事務局の母国スタッフがアルバイト状況を定期的に確認し、学費納入・進学費用準備の助言などをおこなっています。その他生活上の問題点や健康管理については母国の常勤スタッフを増やしたこともあり、適切に対応できる態勢が整っています。個々の学生の事情・状況は、職員で共有できる学生状況共有システムを活用して全体で対応できるよう努めています。また、欠席がちな学生に対しては居住部屋の訪問もおこない、個別の丁寧な対応を心がけています。

(6) 教育環境

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	④・③・②・①
教材・蔵書は適切か	④・③・②・①
学習向上を図るための環境整備がなされているか	④・③・②・①

環境整備のため、若干見られていた雨漏りを解消する壁面工事を令和7年度に行いました。また各階にある洗面所の内装工事も施し、より快適な環境で学べるよう計画的に点検・修繕を続けています。

自然災害に対する防災訓練も年一回実施し、適切な判断・行動ができるよう学生たちにも指導しています。

図書・教材も適時購入し、学生・教員たちが閲覧可能としています。また昨今教材・教具としてインターネット経由の情報を利用することが多くなったため、令和7年に各教室で教師がWifiを使えるよう回線工事を行いました。

(7) 入学者の募集

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
学生募集活動は適正に行なわれているか	④・③・②・①
学生募集活動において、教育成果や学習指導状況が正確に伝えられているか	④・③・②・①
学納金は妥当なものとなっているか	④・③・②・①

母国語のスタッフ・現地のスタッフ・紹介機関と連携して学生募集活動を行っております。入学希望者に対して現地面接のほか、オンライン面接(日本語力チェックも含む)を複数回実施することで、選考の精度を上げ、よりよい留学生獲得をめざしています。また前述のように令和7年に新規パンフレットを作成し、学校のことを理解してもらいやすいよう工夫を進めています。

学納金は令和7年4月より改定して徴収していますが、学則の変更は入管に届け出済みで、各方面への通知の徹底を経て現状問題なく入学者・在校生とも納めてくれています。

(8) 財務

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④・③・②・①
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④・③・②・①
財務について会計監査が適正に行なわれているか	④・③・②・①

引き続き会計事務所への委託で、適切な会計を行なっております。学生数は定員400人の8割を常時維持できている状況であるため、財務基盤に現状問題はなく、収支計画も当面の安定した状況想定により策定しています。納税等の法的義務も確実にこなっております。

(9) 法令遵守

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
出入国管理及び難民認定法令及び各種関連法令等の遵守と適切な運営を行なっているか	④・3・2・1
教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行なっているか	④・3・2・1
個人情報保護のための対策がとられているか	4・③・2・1

入国管理のさまざまなルール改正に関して、事務局員間の閲覧システムにより共有。また、前述の教職員研修等を通じて法令遵守について全職員に徹底し、コンプライアンス意識を持つように認識をアップデートさせています。個人情報保護に関しては、データ変更ができる者(管理者)の限定化を進め、教職員が自由な変更はできないように設定しています。個人情報の扱いについては今後も毎年の研修で必ず触れていくようにする予定です。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行なっているか	4・③・2・1
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4・③・2・1
地域や関連行政との交流や情報交換を行なっているか	④・3・2・1

昨年来のベトナムの大学の通信課程日本校のテスト会場としての教室貸し出しは引き続きおこなっています。またベトナムからの日本文化体験の少年団を迎え、当校にて文化体験会を催すなど国際的な交流を令和7年に行い、今後もその幅を広げていければと考えています。

地域貢献はなかなか進められていないため引き続きの課題ではありますが、地域警察署(杉並区高井戸署・世田谷区成城署)と連携は継続しておこなっており、学生対象の講習会(安全教育・犯罪防止教育)に来ていただくことも引き続きおこなっています。

2026年4月30日